

9月23日
聖徒伝 230

再臨の主に 希望を置いて

エレミヤ書 9章

嘆きの歌

アウトライン

0. イントロダクション

I. 虚偽に満ちた民 9:1~9

II. 荒れ果てた都 9:13~16

III. 裁きの日 9:17~26

IV. まとめと適用

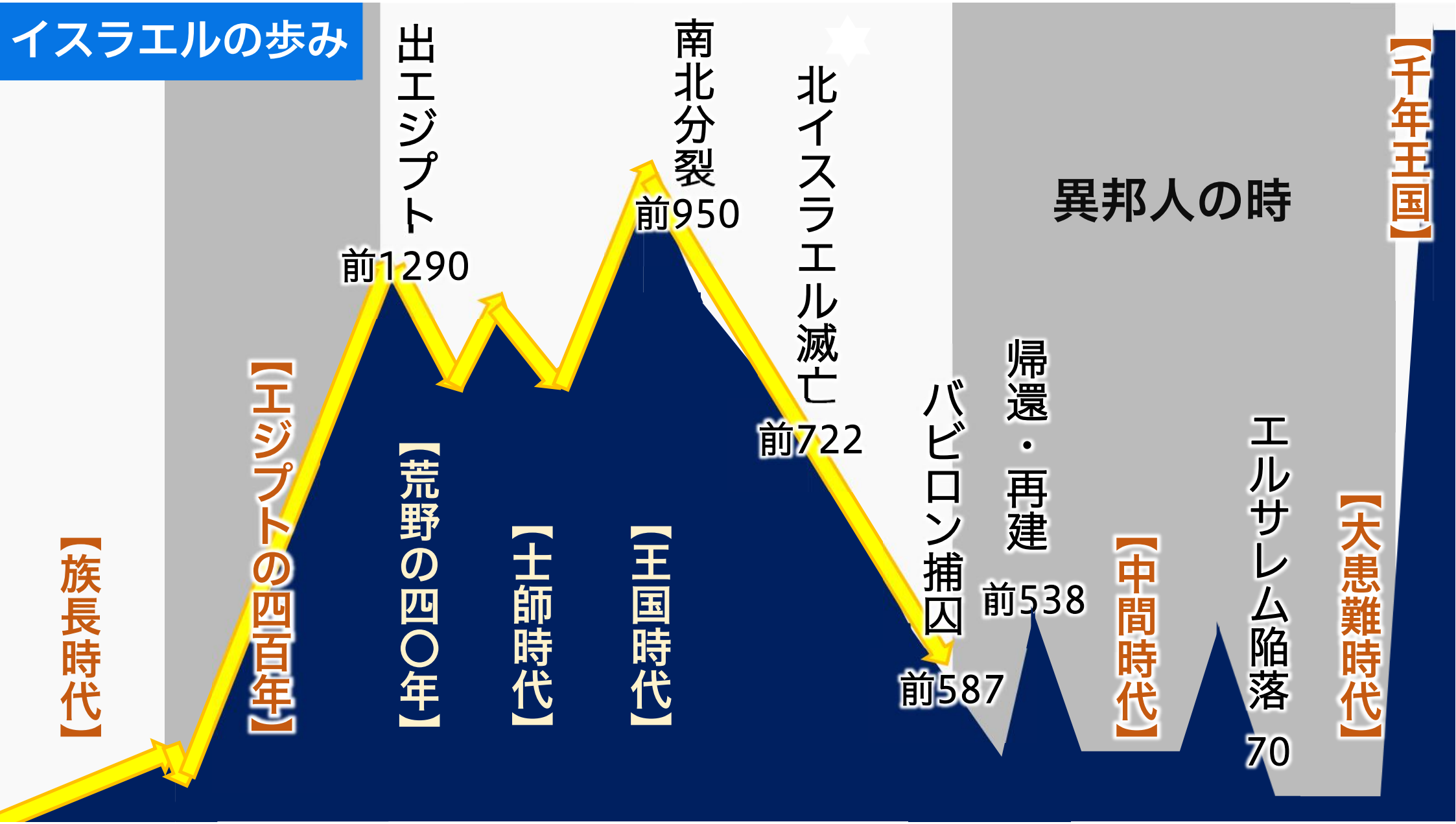
再臨の主に希望を置いて





0. イントロダクション

イスラエルの歩み



北王国
イスラエル

アッシリア捕囚
↓

BC722年

避けがたい神の裁きを伝えることが、
エレミヤの使命

バビロン捕囚
↓

南王国
ユダ

預言者の空白時代



エレミヤ書の構成

章	時代	おもな内容
1～12	ヨシヤ王の時代	エレミヤの召命 エルサレムの罪状と裁定
13～20	エホヤキム王の時代	捕囚の預言
21～38	混沌の時代① エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※記述年代は前後)	帰還の希望(23~29章) エルサレムの滅亡 慰め
39～44	捕囚後	
45～51	混沌の時代② エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※記述年代は前後)	エルサレムの滅亡 諸国への預言
52	まとめ	エレミヤの生涯

エレミヤによる「裁きの預言」が示すこと

■ 第一に、差し迫った**バビロン捕囚(BC586)**

■ すでに起こったバビロン捕囚の出来事以上の惨劇も!!

→後の時代の裁き・**ローマによる陥落(AD70)**

→世の終わりの裁き・**大艱難時代**

預言は、終わっていない!! 今も生きている!!

時空を超越した神の計画・主の目には一つのこと

イスラエルへの裁き



南北時代



千年王国

主の目

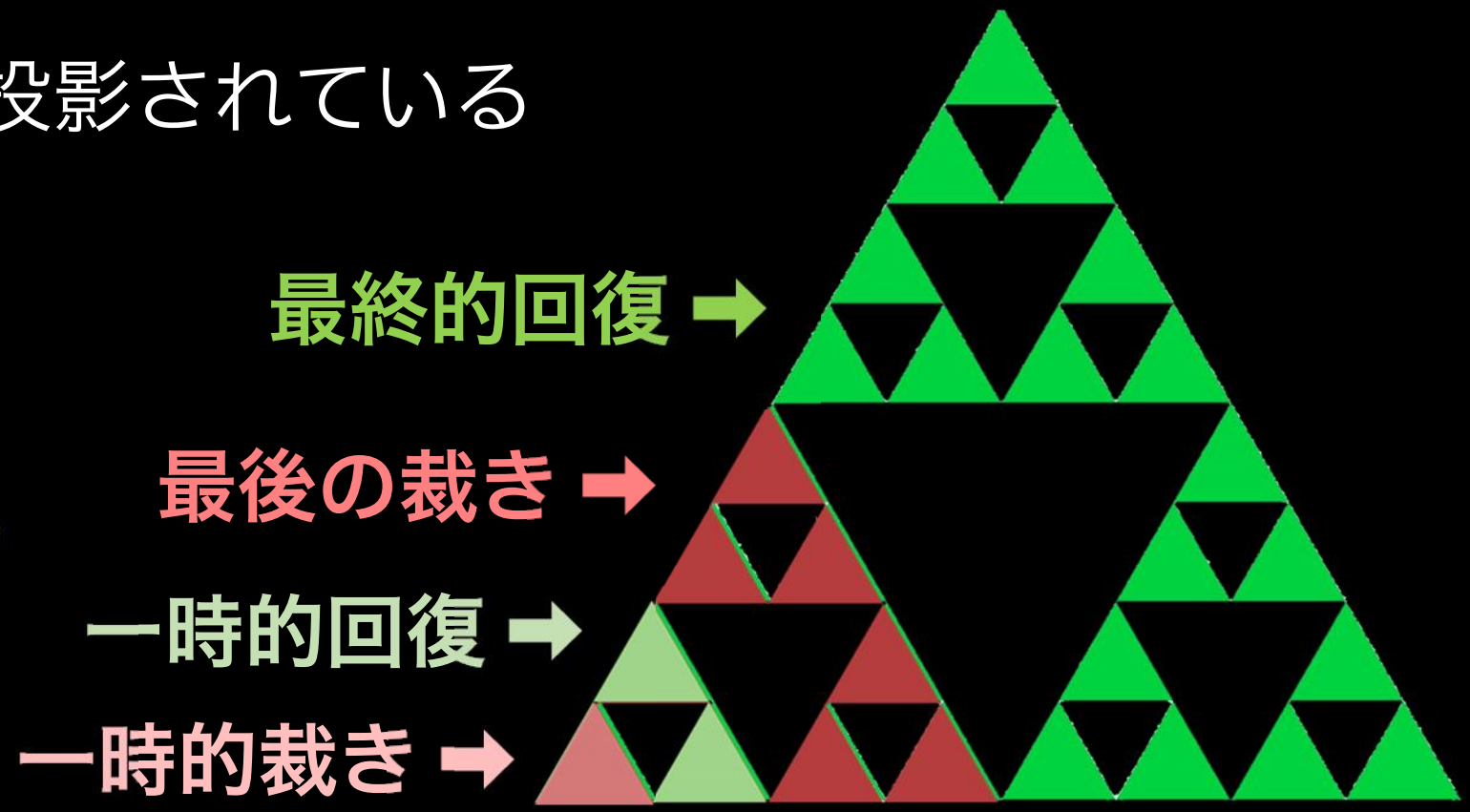
バビロン
捕囚
BC586

ローマに
よる陥落
AD586

大艱難

預言は、フラクタル(相似形)で、シームレス(ひとつなぎ)

部分に全体が、
全体に部分が投影されている





Ⅰ. 虚偽に満ちた民

エレミヤ9:1～9

ユダの荒野

第一連 尽きない嘆き エレミヤ9:1～2

ああ、私の頭が水であり、私の目が涙の泉であったなら、娘である私の民の殺された者たちのために昼も夜も、泣こうものを。

ああ、私が荒野に旅人の宿を持っていたなら、私の民を置いて、彼らから離れることができようものを。彼らはみな姦通する者、裏切り者の集まりなのだ。

- エルサレムの滅びを知り、涙を流すエレミヤ。悪に満ちた都を離れ、荒野に一人でいたいと。



第一連 偽りの民 エレミヤ9:3～4

「彼らは弓を張り、舌をつがえて偽りを放つ。地にはびこるが、それは真実のゆえではない。悪から悪へ彼らは進み、**わたしを知らない***からだ。——【主】のことば——

それぞれ互いに友を警戒せよ。どの兄弟も信用してはならない。どの兄弟も人を出し抜き、どの友も中傷して歩き回るからだ。

***体験的、人格的に、深く知る。悟る。分かる。**

■偽りに満ちた、エルサレムの民。

神を知るか。悪を知るか。道はどちらか一つ。



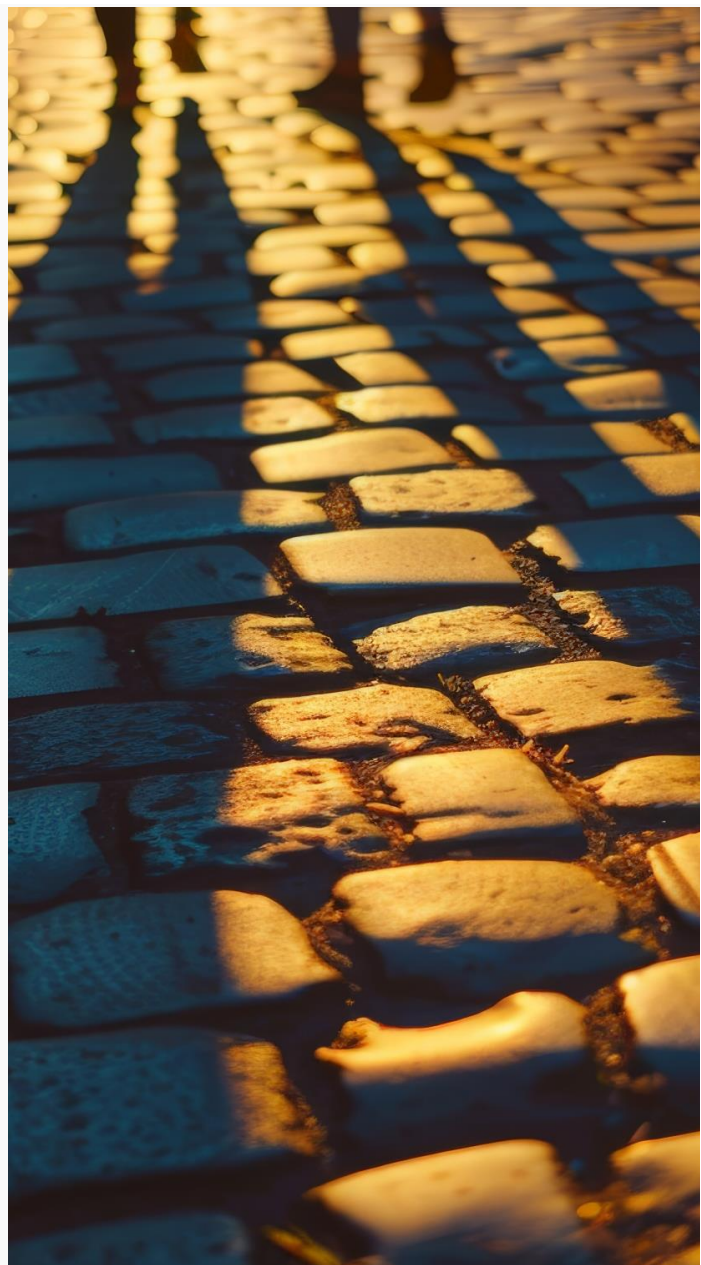
第一連 欺きの住人 エレミヤ9:5~6

彼らはそれぞれ、互いに友をだまして、真実を語らない。偽りを語ることを自分の舌に教え、疲れきるまで悪事を働く*。

あなたは欺きのただ中に住み、欺きの中でわたしを知ることを拒む。——【主】のことば。」

*良心のブレーキもなく、滅びにひた走る

■エルサレムの民の罪が深刻なのは、十分過ぎるほど、主についての知識を持った上で、主を拒んでいること。

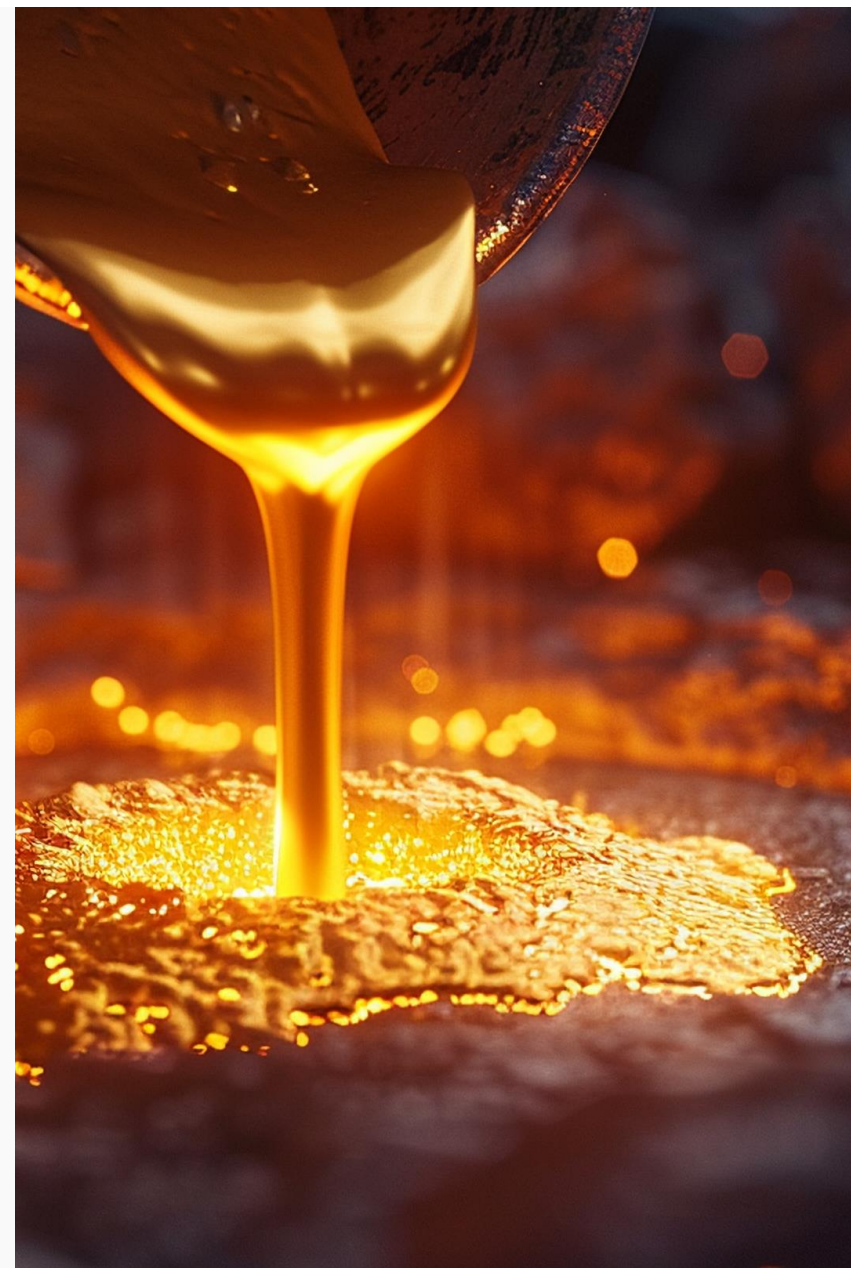


第一連 主の試練 エレミヤ9:7

それゆえ、万軍の【主】はこう言われる。
「見よ、わたしは彼らを精錬*して試す。
いったい、娘であるわたしの民に対してほかに何ができるだろうか。

*火で溶かし、練りきよめる

■ 神の裁きは、民を練りきよめるため。



第一連 欺きで殺す矢 エレミヤ9:8~9

彼らの舌はとがった矢*。人を欺くことを言う。口先では友に向かって平和を語るが、心の中では待ち伏せを企む。

これらについて、わたしが彼らを罰しないだろうか。——【主】のことば——このような国に、わたしが復讐しないだろうか。」

*“殺す矢(口語)”“毒矢(リビ)”

■義なる神は、悪に必ず報いを返される。





II. 荒れ果てた都

エレミヤ 9:13~16

第二連 荒れ果てた地 エレミヤ9:10~11

私は山々のために泣き声をあげて嘆き、荒野の牧場のために哀歌を歌う。そこは、焼き払われて通る人もなく、群れの声*も聞こえず、空の鳥から家畜まで、みな逃げ去っているからだ。

「わたしはエルサレムを石ころの山とし、ジャッカル*の住みかとする。ユダの町々を荒れ果てた地とし、住む者のいない所とする。」

*“家畜の鳴く声(新共)”

*“ジャッカルの住みか(詩44:19)” = 荒野



第三連 知恵ある者はいない エレミヤ9:12

知恵があって、これを悟ることのできる者はだれか。【主】の御口が自分に語られたことを告げ知らせることのできる者はだれか。何のために、この国は滅びたのか。荒野のように滅ぼされ、通る人もいないのか。

■ 知恵ある者、主の言葉を告げる者はいるか？

➔ 誰も答えられない



第四連 捨てられた律法 エレミヤ9:13~14

【主】は言われる。「それは、彼らが、わたしが彼らの前に与えたわたしの**律法**を捨て、わたしの声に聞き従わず、**律法**に歩まず、彼らの頑なな心のままに歩み、先祖たちが彼らに教えたバアルの神々に従って歩んだからだ。」

■ かつての誓いも忘却の彼方に…

『そして契約の書を取り、民に読んで聞かせた。彼らは言った。「【主】の言われたことはすべて行います。聞き従います。出24:7』』



第四連 民の離散 エレミヤ9:15～16

それゆえ、イスラエルの神、万軍の【主】はこう言われる。「見よ。わたしはこの民に苦よもぎ*を食べさせ、毒の水を飲ませる。

彼らも先祖も知らなかった国々に彼らを散らし*、剣を彼らのうしろに送り、ついに彼らを絶ち滅ぼす。」

*胃腸薬でもあった。神の与える裁きの象徴。

*この成就是、ローマによる陥落(AD70)





Ⅲ. 裁きの日 エレミヤ9:17～26

ティトゥス凱旋門

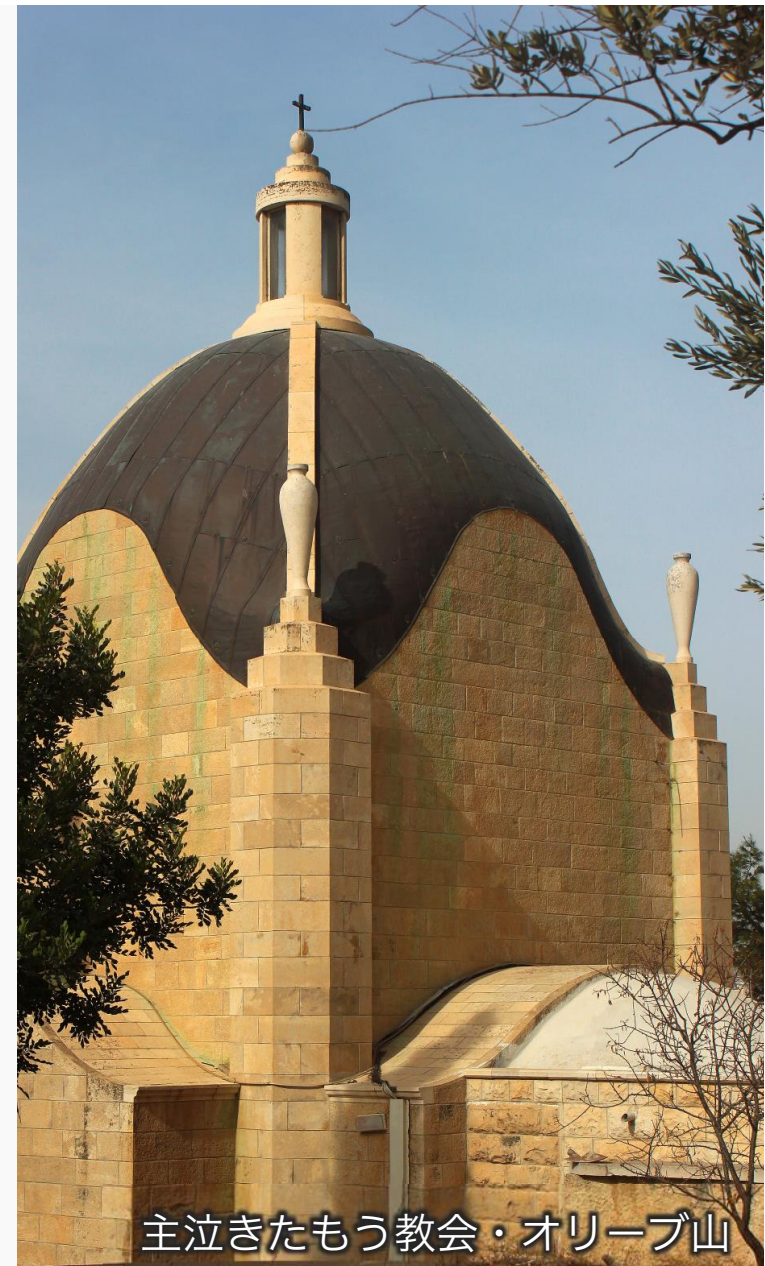
第五連 泣き女 エレミヤ9:17~18

万軍の【主】はこう言われる。「よく考えて、泣き女*を呼んで来させよ。人を遣わして、巧みな女*を来させよ。」

彼女たちを急がせて、私たちのために嘆きの声をあげさせよ。私たちの目から涙を流れさせ、私たちのまぶたに水をあふれさせよ。

*葬儀で、悲しみの感情の発露を促す役割。

*職業としての泣き女がいた。



第五連 恥を見た民 エレミヤ9:19

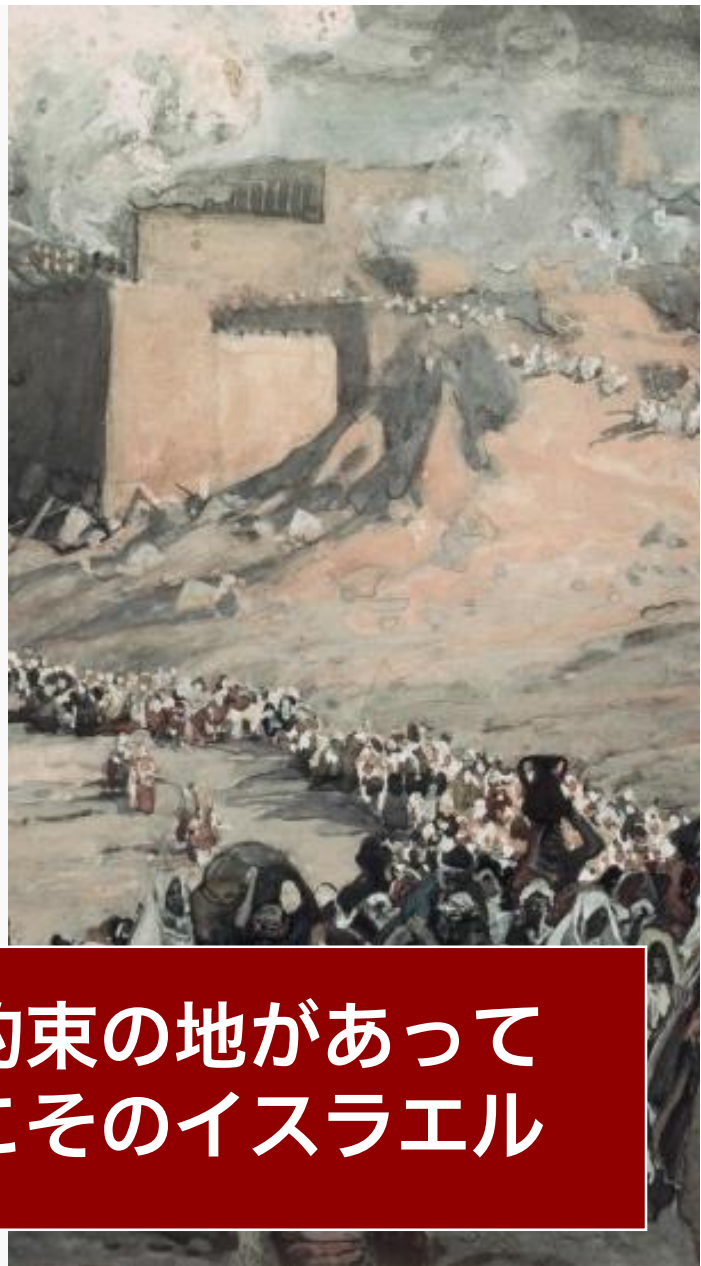
シオンから嘆きの声が聞こえるからだ。ああ、私たちは踏みにじられ、ひどく恥を見た。私たちが地を見捨て、自分たちの住まいが投げ捨てられたからだ。

■ バビロン捕囚でバビロンへ。

ローマによる陥落で、世界各地へ
艱難期の反キリストの迫害で、荒野へ

➔ 嗣業の地を追われることは、
イスラエル最大の苦しみ

約束の地があって
こそこのイスラエル



第六連 哀歌 エレミヤ9:20～21

女たちよ、【主】のことばを聞け。あなたがたの耳に、主の言われることばを受けとめさせよ。あなたがたの娘に嘆きの歌を、隣の女に哀歌を教えよ。

死が、私たちの窓によじ登り、私たちの高殿*に入り、道端で幼子を、広場で若い男を絶ち滅ぼすからだ。

*“宮殿、城郭、城壁”

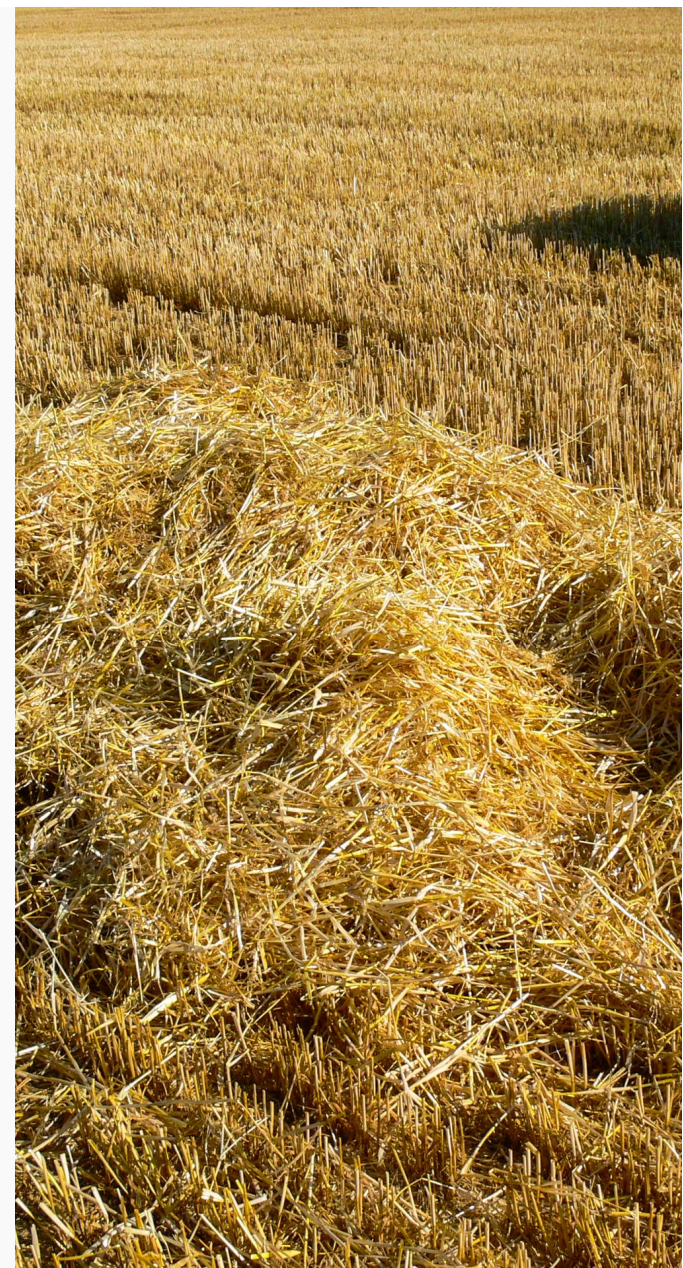
■徹底した破壊と、最悪の惨劇が都を襲う。



第七連 捨てられた束 エレミヤ9:22～23

「語れ。【主】のことばはこうだ。『人間の死体は、畑の肥やしのように、刈り入れ人のうしろの、集める者もない束*のように落ちる。

*貧者が拾う落ち穂のような実も残っていない。



第七連 誇るべきは主 エレミヤ9:24

——【主】はこう言われる*——知恵ある者は自分の知恵を誇るな。力ある者は自分の力を誇るな。富ある者は自分の富を誇るな。

誇る者は、ただ、これを誇れ。悟りを得て、わたしを知っていること*を。わたしは【主】であり、地に恵みと公正と正義を行う者であるからだ。まことに、わたしはこれらのことを喜ぶ。——【主】のことば*。』』

*挟まれた部分をこれ以上ないほどに強調!!

主を知ること以上の誇りはない!!



第八連 主の裁きの時 エレミヤ9:25～26

「見よ、**その時代***が来る——【主】のことは——。そのとき、わたしはすべて包皮に割礼を受けている者を罰する。

エジプト、ユダ、エドム、アンモンの子ら、モアブ、および荒野の住人で、**もみ上げを刈り上げている***すべての者を罰する。すべての国々は無割礼で、イスラエルの全家も心に割礼を受けていないからだ。」

*“その日(三版)” *エレミヤ書だけの表現

その日、異邦人もユダヤ人も、すべての不信仰者に裁きが下る。





Ⅲ. まとめと適用

再臨の主に希望を置いて

オリーブ山

神の視点が突きつける、人の罪の深刻さ

- 互いに相手をだまし、滅びにいたるまで悪事を重ねる(エレ9:4)。
 - ➔ヘブル的誇張法?! ではすまない、人の罪の深さ
 - ➔すべての人は、神の怒りを受けて滅びにいたる罪人
- ユダヤ人の中のメシアニック・ジューは、1~2%
キリスト教国でも、真実の信仰者はどれだけいるのか?
- 「自分はそこまで悪くない」 自覚がないのが罪人の証拠。
 - ➔イスラエルに関して世界中に蔓延する嘘の劣悪さ

神の民イスラエルですら滅びに罪に陥ったなら、教会は？

教会への主イエスの警告

■「パン種のたとえ」 マタイ12:31～32

「天の御国はからし種に似ています。人はそれを取って畑に蒔きます。どんな種よりも小さいのですが、生長すると、どの野菜よりも大きくなって木となり、**空の鳥(悪魔)**が来て、その枝に巣を作るようになります。」

■「からし種のたとえ」 マタイ13:33

「天の御国は**パン種(偽りの教え)**に似ています。女の人がそれを取って三サトンの小麦粉の中に混ぜると、全体がふくらみます」

見た目は成長しても、偽りの教えが蔓延し、悪魔が棲み着くほど

教会時代の教会の現実 黙示録2～3章「メシアの手紙」

教会	賞賛・奨励	叱責	特徴
エペソ	行いと労苦と忍耐。異端を追放。偽教師を見抜き、拒否。	初めの愛から離れてしまった	教理的には正しいが冷たい教会
スミルナ	貧しさや迫害に耐えた。死に至るまで忠実であれ。	なし	貧しく、困難でも主に忠実な教会
ペルガモン	信仰を堅く保っている。	異教や異端を教える者がいる	基本的信仰は保つが、異端が侵入した教会
ティアティラ	初めの行いにまさる行い。	偶像礼拝を容認	愛に溢れるが、教理的に問題の教会
サルディス	正しい行い。生きた信仰。(わずかな信仰者が残る)	実は死んでいる	見かけだけの 偽善的教会
フィラデルフィア	よい行い。御言葉を守る。	なし	愛に溢れ、教理も確か。宣教熱心な教会。
ラオディキア	なし	生ぬるい。惨めで哀れで盲目で裸。	キリストを閉め出した 背教の教会

世の終わりに向けて、悪化していく教会

- 叱責がないのは2教会のみ。3教会は、愛か教理に問題が!!
- 最悪の二つの教会モデル
 - ➔ 愛と教理も見た目だけで、実は死んでいる、**偽善的教会**
 - ➔ 世の終わりには、賞賛のない、**背信の教会**が多勢に!!

「そのとき多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合います。
また、偽預言者が大勢現れて、多くの人を惑わします。
不法がはびこるので、多くの人々の愛が冷えます。マタイ24:11」

産みの苦しみの時代

■ 今は、「産みの苦しみの始まりの時代」 マタイ24:7~8

民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、あちこちで飢饉と地震が起こります。

しかし、これらはすべて**産みの苦しみの始まり**なのです。

■ 世界大戦の勃発 → ホロコーストで1/3のユダヤ人が虐殺

■ 飢饉と地震 …20世紀以降に激増

■ 艱難期には、2/3以上のユダヤ人と、全人類が死に至る。

→ これ未満の惨劇は、産みの苦しみの時代にも起こりうる

大艱難時代の二つの特徴

■イスラエルへの世界的憎悪 マタイ24:9～10

「そのとき、人々は**あなたがた**を苦しみにあわせ、殺します。また、わたしの名のために、**あなたがた**はすべての国の人々に憎まれます。」

■極まる欺きと憎悪 マタイ24:11

「そのとき多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合います。また、偽預言者が大勢現れて、多くの人を惑わします。不法がはびこるので、多くの人々の愛が冷えます。」

産みの苦しみの時代もこの傾向は強まっていく

産みの苦しみの時代に祈るべきこと

■ アッシリア包囲の中でのヒゼキヤ王の言葉 Ⅱ列王19:3

『今日は、苦難と懲らしめと屈辱の日です。子どもが生まれようとしているのに、それを産み出す力がないからです。』

■ **主の約束**に希望を置いていたヒゼキヤ → まだ破滅は来ない
→ 主の約束通り、エルサレムは守られた。

■ 希望を置くべきは、**主の約束** → 教会時代の希望は、**携挙**

「マラナタ 主よ来てください」 主イエスを呼び求めよう!!

大艱難時代の希望

■ 最後にして最大の世界宣教 マタ24:13~14

「しかし、最後まで耐え忍ぶ人は救われます。御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、それから終わりが来ます。」

■ 14万4千人のメシアニックジューによる世界宣教の実 黙7:9

「その後、私は見た。すると見よ。すべての国民、部族、民族、言語から、だれも数えきれないほどの大勢の群衆が御座の前と子羊の前に立ち、白い衣を身にまとい、手になつめ椰子の枝を持っていた。」

産みの苦しみを経て、史上最大の収穫の時がやってくる!!

再臨のメシアに、希望はある

■主イエスの嘆きと最後の希望 マタイ23:37~39

エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者よ。わたしは何度、めんどりがひなを翼の下に集めるように、おまえの子らを集めようとしたことか。それなのに、おまえたちはそれを望まなかった。

見よ。おまえたちの家は、荒れ果てたまま見捨てられる。

わたしはおまえたちに言う。今から後、『祝福あれ、主の御名によって来られる方に*』とおまえたちが言う時が来るまで、決しておまえたちがわたしを見ることはない。」

*再臨のメシアを迎える言葉 →イスラエルの民族的回心

★ 主イエスによる携挙を待ち望みつつ、遣わされよう ★

■産みの苦しみの時代。憎悪と欺きは増し、教会も偽善と背教に。
「なぜ教会でこんな目に遭うのか」それが、この時代の現実だ。

■栄光の姿で来られる主イエス・キリストを待ち望みつつ、
聖書を主の御心に沿って学び、愛の実践を行っていこう。

■真理の学び、愛の実践、福音宣教、三つが揃ってこそその教会だ。
主の導きと御霊の満たしの内に、互いに育まれていこう。

マラナタ!! 主よ来てください!!

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

②墓に葬られ、

③三日目に復活したこと、を信じます。

う くる じだい こんとん やみ ふか なか
産みの苦しみの時代、混沌と闇が深まっていく、ただ中で、

わたしは、ただ主の約束に信頼します。地上の教会をお守りください。

みたま み ふか しゅ し もの
御霊に満たされ、ますます深く主を知る者としてください。

けいきょ きぼう うえ あゆ しゅ き
携拳の希望の上に歩ませてください。マラナタ。主よ来てください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」